

宮崎の水産業を生かし広げるために



生存対策講習会



生存対策講習会



全国漁青連通常総会

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

生存対策講習会
(サバイバル・トレーニング)

お魚料理講習会
(高鍋高校・学校給食会・日南市教育委員会)

宮崎県浮魚礁利用協議会
第1回委員会

漁業就業者フェア2012
平成24年7月属人水揚げ表

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

県域ビジョン幹事会

BUSINESS

業務情報

石油・製氷内部担当者会議開催

レストラン協議会視察

宮崎初かつおフェア実行委員会
(報告会)が開催される!!

いきいき宮崎のさかなブランド
確立推進協議会第一回委員会開催!!

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

宮崎港一斉清掃について

2012国際協同組合同年(IVC)
記念講演会開催

平成24年度第4回理事会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

2012年下半年期の
長期漁海況予報について

7月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

全国漁青連通常総会

黒潮会総会

宮崎県漁業士会総会

宮崎県定置漁業協会視察研修会

宮崎県藻場干潟等保全地域協議会
通常総会

7月の動き

SUISAN MIYAZAKI 08

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

生存対策講習会 (サバイバル・トレーニング)

7月17日(火)、川南町漁協会議室及び同漁協前岸壁において、漁業者、漁協職員、その他団体等合わせて、約90名の参加者のもと生存対策講習会が開催された。

内容は次のとおり。

①座学(漁協会議室)

・「生き抜くために」

船員災害防止協会 安全管理士 長谷川 澄

・「ライフジャケットの着用方法について」

日本船具株式会社 営業部課長 野部 和久

②実技(漁協前岸壁)

・「膨張式救命筏等の操作について」

船員災害防止協会 豊崎 嘉弘、宮崎県漁連 松岡 真史

筏の取扱い方法、艀装品の使用方法を説明後、実際に膨張式救命筏を投下し、漁協職員2名が海に飛び込んでデモンストレーションを行った。



お魚料理講習会 (高鍋高校・学校給食会・日南市教育委員会)



去る7月11日、高鍋高校においてお魚料理講習会を開催した。34名の生徒が参加し、延岡市漁協女性部のご協力のもとかつお料理に挑戦した。

2.5kg前後のかつおをにぎったり、持ったりすることは初めての経験で、片手でなんとか握り下ろしていた。講師の方から手順やコツを聞きながらかつおたたき・かつお飯・かつおカツ・かつおの炙りを作った。試食の際はかつお飯が人気でおかわりするなど好評であった。また、同月24日、(財)宮崎県学校給食会において学校栄養職員の5年・10年経過研修者9名の講習を行った。かつお料理の他に県内漁協・漁協女性部の水産加工品のPRと試食を行い、学校給食での水産加工品についての意見交換も行った。

さらに同月31日、日南市生涯学習センターまなびピアにおいて日南市教育委員会の初任者研修の一環として日南市内の公立小学校初任教諭4名の講習会を開催した。日南市漁協女性部にご協力いただき、かつおの漁法や小学校などでの料理講習会時の生徒の反応などを織りまぜながら講習を行った。地元の産物を自分達で調理出来ることがとても勉強になり、今後の学校での授業に繋がる良い機会になったとの感想をいただいた。

宮崎県浮魚礁利用協議会 第1回委員会

去る7月30日、水産会館4階研修室において、宮崎県浮魚礁利用協議会第1回委員会を開催した。協議内容は次のとおり

- ・平成23年度収支決算書について
- ・宮崎沖浮魚礁利用調整高知県協議会・愛媛県との協定書調印について
- ・役員改選について
- ・その他

役員改選の結果、委員会役員について右記のとおりとなった。

役職名	氏名	所属団体役員
会長	濱上 貢	日南市漁業協同組合長
副会長	黒木 巧	門川漁業協同組合長
〃	矢部 廣一	宮崎市漁業協同組合長
委員	谷口 安博	延岡市漁業協同組合長
〃	是澤 喜幸	日向市漁業協同組合長
〃	溝口 吉治	川南町漁業協同組合長
〃	河野 正	檳浜漁業協同組合長
〃	松浦 和繁	南郷漁業協同組合長
〃	近藤 守	串間市東漁業協同組合長
幹事長	吉村 富士男	日南市漁業協同組合参事

漁業就業者フェア2012

7月21日(土)東京都東京国際フォーラムにおいて 漁業就業者フェアが開催された。今回は、20~30歳代の若い参加者が多く、本県のブースには12名の訪問があり、対応を行った。



平成24年7月属人水揚げ表

漁協名\区分	7月分			7月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	2,635	153,331	58	17,692	1,185,089	67	19,246	1,224,264	64	-1,554	-39,175	4.7
島浦町	1,005	136,003	135	6,517	865,990	133	5,710	907,234	159	807	-41,244	-16.4
延岡	19	12,535	653	333	128,342	385	227	57,960	255	106	70,382	51.1
延岡市	119	37,270	314	726	276,984	382	633	262,088	414	93	14,896	-7.8
庵川	278	78,876	284	1,107	411,494	372	1,009	392,303	389	98	19,191	-4.5
門川	58	37,947	655	327	178,578	547	310	144,355	465	17	34,223	17.5
日向市	303	173,618	573	2,736	1,417,526	518	2,365	1,373,270	581	371	44,256	-10.8
都農町	28	18,028	636	308	178,374	580	278	147,098	528	30	31,276	9.8
川南町	210	141,358	673	2,351	1,380,672	587	2,325	1,289,424	555	26	91,248	5.8
一ツ瀬	10	7,929	773	94	58,646	624	105	69,602	665	-11	-10,956	-6.1
檳浜	15	5,915	385	75	27,724	371	72	24,025	335	3	3,699	10.8
宮崎	119	37,666	316	771	273,607	355	687	242,276	352	84	31,331	0.8
宮崎市	80	35,408	441	609	274,157	450	535	251,371	470	74	22,786	-4.3
日南市	1,170	330,296	282	5,498	2,050,032	373	6,162	2,092,775	340	-664	-42,743	9.7
南郷	3,136	812,195	259	10,825	3,777,917	349	13,014	4,118,494	316	-2,189	-340,577	10.7
栄松	248	71,283	288	921	340,478	370	1,121	366,287	327	-200	-25,809	13.1
外浦	1,460	370,157	254	4,397	1,368,475	311	4,700	1,384,564	295	-303	-16,089	5.5
串間市東	60	16,831	282	1,052	403,167	383	1,125	339,710	302	-73	63,457	27.0
串間市	350	185,989	531	4,501	2,386,803	530	3,915	2,251,753	575	586	135,050	-7.8
合計	11,304	2,662,636	236	60,839	16,984,056	279	63,540	16,938,852	267	-2,701	45,204	4.6

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

県域ビジョン幹事会



宮 崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化推進協議会(会長・丸山英満)は、7月6日(金)水産会館第1研修室において第2回幹事会を開催した。提出された協議事項である(1)県内漁協の現状、(2)課題、(3)機能・基盤強化基本方針の骨子(案)、(4)今後のスケジュールについてはすべて了承された。

忘れてませんか？あなたの命を守る大切なもの。

救命衣、着用していますか？

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

♪海といっしょに 浜といっしょに♪

元気に暮らそうJF共済

手コ・くらしカサT・リコ
ねんきん タンシヨ ながき年金

漁業協同組合・JF共済推進本部
<http://www.kyosuiren.or.jp>

人と自然との調和

粒状粉石けん
コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう！

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

FISHERY MANAGEMENT

石油・製氷内部担当者会議開催

漁 連は、系統利用率向上を目的に石油7/10、製氷7/12の日程で本所会議室にて内部担当者会議を開催した。

石油の会議は先ず、平成23年度系統外利用の実態に対してその後、各担当者が管轄JFに対してどのように推進対応したのか報告を行い、平成24年度の系統外利用実態及び対応策について協議した。

系統未利用の現状としては、価格面や供給体制など地区ごとに様々な要因があり、今後の推進策としては、各担当者が系統未利用の実態をしっかり認識し、各漁協担当者と情報を密に取り合い、系統利用の向上に努めて参りたい。

製氷の会議については、平成23年度及び平成24年度の5月末実績について各担当者より受け持ち地区の水揚げ操業状況等の報告も含め総合的に現状分析を行った。

また、各事業所の工場の施設状況を把握するため、平成23年度中に発生した事故及び施設関係の故障についても報告を行った。

今後の取り組みとしては、日常点検を実施し円滑に業務が遂行できるよう努めて参りたい。

レストラン協議会視察



保 田漁協・シーフードショーを視察研修

JF直販・レストラン連絡協議会は、7月17日(火)～18日(水)会員(門川・日向市・宮崎市・南郷漁協、県漁連)5名参加のもと千葉県保田漁協並びに東京で開催されたシーフードショーの視察研修を実施した。保田漁協は東京湾口の房総半島の南西部に位置し、豊かな漁場を有し、古くから沿岸漁業の盛んな地域である。

しかし、東京湾口での巨大船舶の往来により安全な漁業が困難となり、同時に湾内の開発や海流の変化により漁獲量が年々減少していった。

このようなことから約15年前から人を相手にした第三次産業「海業」の取り組みとして食堂事業「ばんや」を始めた。漁協の二本柱は自営の定置網事業と食堂事業「ばんや・ばんやの湯」で、さらに地先水産物の消費拡大や漁村の活性化を図るための取り組みの一つとして遊覧船事業を始め親子で楽しく海で遊べる施設づくりに取り組んでいる。

食堂事業「ばんや・ばんやの湯」については3棟あり収容人員542人(ばんやの湯を除く)で、平成22年度は7億5千万円の売り上げがあったという。

食堂事業の効果として水産物の高付加価値化・地域の雇用拡大・流通コストの省略・漁協経営の安定化が図られているとのこと。

翌日は、年に1度開催されるシーフードショーを視察した、14回を迎えた今回は「もっと魚と知り合おう!もっと魚を食べましょう!」を合言葉に、健康でバランスのとれた日本型食生活の源である魚介類、水産製品、関連食材583社の6,000品目が展示・試食販売されていた。



宮崎初かつおフェア実行委員会(報告会)が開催される!!

去 る7月13日「宮崎初かつおフェア2012」終了後の宮崎初かつおフェア実行委員会が開催されました。

委員18名中代理を含め11名の出席と、オブザーバーとして日南市水産林政課、宮崎空港ビル(株)営業部、(株)UMKエージェンシー営業部から出席をいただき、活発な意見が出されました。

議事内容については、事務局から議題1として、**事業の経過や主な広報などの事業実績及び、収支予算額1,829千円を434千円上回る2,263千円余の収支決算見込みについて報告**がありました。

続いて参加店アンケート結果について、説明がありました。主なものとして、初かつおフェアの参加については85%の店舗が良かった、大変良かったとしており、広報については、半数近くの人が不十分などする意見が出されましたので、今後の検討が必要と考えられます。

次に議題2「宮崎初かつおフェア2012」開催に伴う感謝状の贈呈について、かつおの生産流通に直接的に関係の無い企業等から事業運営の支援協力を頂戴した、①アサヒビール(株)宮崎支社、②霧島酒造(株)、③米良電機産業(株)、④フェニックスリゾート(株)、⑤JR九州宮崎総合鉄道事業部、⑥宮崎空港ビル(株)を贈呈先として、説明があり、案のとおり承認され、後日事務局からお届けされました。



次に議題3、次回「宮崎初かつおフェア2013」の開催時期について、

今回が3月30日(金)から5月6日(日)までの38日間に対して、A案が3月26日(火)～5月12日(日)の48日間、B案が3月26日(火)～5月6日(月)の42日間、C案が3月29日(金)～5月6日(月)の39日間の3案が提案されました。

3月26日スタートについて、主な説明では、3月は日南市南郷町のかつおフェアが開催されており、また、春休みを一部入れることで県内外客への更なるアピールができること、さらに年度末年度初めの行事を避けて業務の円滑化を図ることができるなどの説明があり、そこで委員は支持する案がまちまちであったが、いろいろな意見交換を経て開始日を3月26日とすることについて全員賛成となりました。また、終了日については、5月6日(月)か5月12日(日)かのいずれかであるが、カツオの漁獲時期がずれていることや、仕入れのしやすい時期を考慮して5月12日(日)とすることは差し支えないなどの意見があり、結果として全員賛成となりました。これにより、**次回「宮崎初かつおフェア2013」の開催時期については、3月26日(火)～5月12日(日)、48日間の開催が決定**されました。



次に今回の「宮崎初かつおフェア2012」の主な点を、前回と比較しますと、参加店が38店舗増加して230店の参加となりました。

また、生産としてのカツオ一本釣り漁業は、3、4、5月は前年の約3割減で、カツオ漁が不振であったことが窺えます。

さらに、宮崎市の台所である宮崎市中央卸売市場のカツオ入荷量は、前年同月に比べ3月が3割減、4月が6割減、5月は2割減となりました。特に4月の入荷量は、フェア開始の平成18年以来最低を記録しました。また、一尾入りカツオの入荷は、3月が3割減、4月が8割超の減、5月が5割超の減でありまし

た。以上の環境下で、今回の「宮崎初かつおフェア2012」が開催されましたが、関係者の皆さんには、御苦労さまでした。

いきいき宮崎のさかなブランド 確立推進協議会第一回委員会開催!!



去る7月5日(木)いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会第一回委員会が開催され、委員15名のうち、代理出席3名、委任状提出1名を含め、丸山会長以下11名の出席により、第一号議案平成23年度事業実績並びに収支決算について、続く監査報告、第二号議案平成24年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について、それぞれ説明があり、活発な意見交換がなされまして、案のとおり決定されました。

以下、議案の主な内容及び主な質疑等を記載しました。

第一号議案平成23年度事業実績並びに収支決算について

基本方針

厳しい漁業経営に対する取り組みの一環として、魚価向上や販路拡大への取り組みはたいへん重要であり、当協議会では23年度、ブランド認証制度等を活用したPRやフェア等の開催について、流通・販売の専門家の活用、農商工業等との連携促進、対象エリアの重点化など、より効果的な取り組みにより県水産物の認知度やイメージの層向上と販路拡大に努め、「みやざきブランド」の確立と定着を図った。



重点推進事項

(1)「みやざきブランド」の育成・定着の推進

ア、水産物の流通や商品開発等の経験、知識、人脈等を要するブランド推進員を配置し、北部九州などの重点エリアでの販売情報の収集やブランド品等の情報発信等の取組を推進した。

イ、ブランド認証品をはじめとする「みやざきの魚」など、全県的な水産物の情報発信及びポスター等PR資材の作成を進めた。

ウ、各部会が主体となって地域水産物フェア、イベント企画等によるPRに取り組んだ。

エ、福岡市などの北部九州や近畿圏等において、フェアや商談会に参加し、本県水産物の販路開拓に努めた。

オ、ブランド認証品を有する関係部会において、販路の拡大・定着化を図るための商談会等に取り組んだ。

(2)ブランド推進協議会の運営事業

ア、協議会総会や部会の開催、連絡調整事務により、効果的な事業推進に努めた。

イ、新たなブランド認証申請に係る調査及び指導をはじめ、既認証ブランド品に対する品質維持・向上等への取組指導、販売状況の把握等のほか、新ブランド開発への取組を進めるグループに対する活動支援に取り組んだ。



(3)収支決算書

区分		決算額	予算額	備考
収入の部	県補助金	6,953,000円	6,953,000円	
	その他	5,232,968円	5,232,968円	・市町補助金1,098千円 ・漁協等負担金3,055〃 ・県漁連負担金1,080〃
	合計	12,185,968円	11,594,000円	比較増減591,968円の増
支出の部	みやざきブランド育成定着推進事業	6,938,064円	5,914,000円	比較増減1,024,064円の増
	ブランド推進協議会運営事業	5,247,904円	5,680,000円	比較増減432,096円の減
	合計	12,185,968円	111,594,000円	比較増減591,968円の増

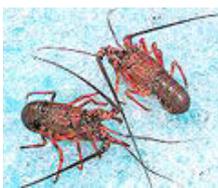
第二号議案平成24年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

基本方針

厳しい漁業経営に対する取り組みの一環として、当協議会では24年度、「みやざきブランド」の確立と定着を図るため、ブランド認証制度等を活用したPRやフェア等の開催について、より効果的な取り組みを行い、県水産物の認知度・イメージ向上と販路拡大に努めるものとする。

重点推進事項

(1)「みやざきブランド」の育成・定着の推進



ア、ブランド認証品をはじめとする本県水産物等を効果的にPRしていくため、県内各所で開催されるイベント情報等を掲載したイベントカレンダーの作成を行う。

また、テレビ・ラジオ・ブログ等による情報発信やフェア等でのポスター・のぼり等によるPRを行う。

イ、各部会が主体となって、ブランド認証品をはじめとする本県水産物等について、各種イベント・フェア等の企画開催や、県内漁協直販店のイベント参加等により効果的なPRを行う。

ウ、ブランド認証品等の更なる販売強化のため、商談会等に積極的に参加し、販路開拓・定着化の促進に努める。

エ、ブランド認証品等の更なる販売強化のため、申請団体と一体となった取り組みにより、販路拡大・定着化の促進に努める。



(2)ブランド推進協議会の運営事業

ア、当協議会及び部会の開催を行うことにより、効果的な事業推進や円滑運営を図る。
イ、県水産物ブランド品の育成と定着促進を図るため、県内漁協との調整・指導等に努める。



(3)収支決算書

区分		本年度予算額	前年度予算額	備考
収入の部	県補助金	6,953,000円	6,953,000円	
	その他	4,248,000円	4,641,000円	・市町補助金1,098千円 ・漁協等負担金1,894〃 ・県漁連負担金1,256〃
	合計	11,201,000円	11,594,000円	比較増減393,000円の減
支出の部	みやぎブランド育成定着推進事業	5,541,000円	5,914,000円	比較増減373,000円の減
	ブランド推進協議会運営事業	5,660,000円	5,680,000円	比較増減20,000円の減
	合計	11,201,000円	11,594,000円	比較増減393,000円の減

Q1ブランド事業実績をみると、「～に努めた。」との表現で、結ばれているが、ブランド事業は漁業者の所得向上を目的としており、目標を持ってこれを達成していくことが大事であり、実績報告ではその結果を「この様にできた、あるいは、これこれの事情がネックで達成できない」など、評価できるような形に来年度で良いから、改善して頂きたい。(要望)

Q2ブランドのPRは、テレビなどでは全然見かけないがどうなっているのか。

A2県政番組の中で、年に数回取り上げてもらっている。また、県政番組視聴者プレゼントでも年に数回、計画的に対応している。テレビのチャンネルが増えて、少々PRしても見てもらうことは少ない。番組の買い取りやスポンサーになることには、多額の予算が必要と聞いている。

Q2関連かつおフェアは、どうやっているのか。

A(Q2関連)かつおフェアでは、15秒CM換算で19回、告知情報、ジャガ天、まっぼすなどの放映を含めて、63万円かかっている。どこまで見られているのかは、疑問。しかしながら、ホームページ利用が新たなPRの根源となっている。かつおフェアホームページで33件以上の利活用がある。

Q3無償の新聞告知などを活用した方法もあるので、利用してほしい。(要望)

Q4水産ブランド品「金鱧」を使った加工品「ハモって味噌」の販売価格が300円/個と聞いたが、ブランド品ならもう少し高く売っても売れると思う。新しい商品を作っても採算がとれないと、何のためにやるのか分からない。サイドのシール、金鱧の金になぞらえて、シールも金色にするとイメージがよく伝わる。

A4製造元の門川漁協に話は伝える。

Q5水産物ブランド品の販売店に対して、県外からの照会はどのくらいあるのか。ブランド協議会事務局に対する照会はどうか。

A5水産物ブランド品の販売店に対して、県外からの照会是不明なので、機会を見て照会してみたい。事務局へは、年に10件くらい営業関係者から照会がある。しかし、販売が直接できないので、販売店を紹介している。

宮崎港一斉清掃について

宮 崎県水産団体では、去る7月17日(火)宮崎ベイコムハート連絡会主催による、宮崎港の一斉清掃に参加した。水産団体参加者は約40名、宮崎製氷工場周辺を中心に清掃を行った。当日は、強い日差しの中、早朝7時からの作業に取り組み、多くのゴミを収集することができた。

2012国際協同組合年(IYC) 記念講演会開催

去 る7月17日(火)JA・AZMIにおいて、2012国際協同組合年(IYC)記念講演会が開催された。今年には国連の定める国際協同組合年(IYC)であり、国連決議では07年の世界的な食糧危機、08年以降の金融・経済危機に対して、協同組合が耐久力・回復力を示したことが評価された。そして、世界的にも現代社会における協同組合の社会的役割と価値が改めて見直されている。今回の講演会は、IYC記念として本県の協同組合の認知及び理解の向上と今後の協同組合の発展に資するため、県下9団体の参加による2012国際協同組合年宮崎県実行委員会の県統一活動として開催されたものである。講演は、二宮尊徳(金次郎)の7代目子孫の中桐万里子氏を迎え、「地域活性化と協同組合」の題目で行われた。内容は、二宮尊徳が取り組んだ農村振興において「現実生活を豊かにする」ことを重要視し、また、生涯をかけて「道徳と経済が不可欠である」ことを証明したこと。さらに地域経済の活性化に協同組合が果たす役割などについて尊徳の実践事例を交えてわかりやすく講演された。

平成24年度第4回理事会

漁 連は、7月13日(金)水産会館第一中研修室において、平成24年度第4回理事会を開催し、次の事項について議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

- ・附議事項
- ・第一号議案 魚乃里「ぎょれん丸」の外部委託に関する件
- ・第二号議案 農林水産省大臣官房検査の結果報告に関する件
- ・第三号議案 JF経営指導宮崎県委員会設置要領の一部改正に関する件
- ・第四号議案 石油価格の改定に関する件

ナチュラルミネラルウォーター

美泉水

お問い合わせ先

本所業務部 0985-28-6111
延岡支所 0982-37-0030
日南支所 0987-23-5231



2012年下半期の長期漁海況予報について — 資源部 —

今回は、平成24年7月25～26日に開催された太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報会議の結果について紹介します。

【海況】

経過(2012年1月～7月)

◆都井岬沖の黒潮流軸(海上保安庁海洋情報部)は、4月に「かなり離岸(離岸傾向)」、5～7月は「やや離岸(接岸傾向)」で推移した。8月上旬に一時的に「接岸」した後、現在「やや離岸」で推移している。

◆沿岸海洋観測による日向灘の水温(0m、50m、100m層より判断)は、平年値(1972～2010年度平均)と比べて、4月に「平年並み」、5月に「やや高め」、7月「やや高め」で推移した。6月は欠測。

予測(2012年8月～12月)

◆都井岬沖の黒潮流軸は、8月中旬まで「接岸傾向」、8月下旬から10月まで「離岸傾向」、11月に「接岸傾向」となった後、12月に「離岸傾向」となる見込み。

◆日向灘の水温は、8月～9月に「平年並み～高め傾向」、10月～11月に「平年並み」となった後、12月に「平年並み～高め傾向」となる見込み。

【漁況】

【マイワシ】

経過(2012年1～6月)

◆まき網による漁獲は、1/6の産卵成魚(被鱗体長19～20cm台モード、鱗査定で推定年明け2歳以上の漁獲量(403トン)が全体の50%を占めた。その後、産卵成魚の漁獲はなく、0歳魚主体の漁況となっている(5月が被鱗体長12cm台モード、7月が13～15cm主体台)が低調に推移している。

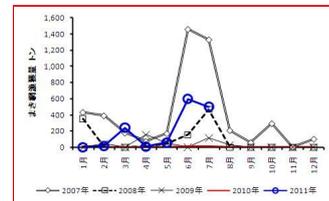
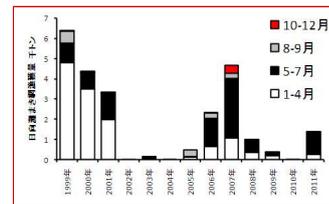
◆日向灘南部大型定置網の4～5月の当歳魚入網指標値(伝票漁獲量と雑魚に占める推定漁獲量の相乗平均)は前年の22%、平年の49%であった。3～4月のサイズは7cm台モード、5月は15cm台モードであった。

予測(2012年8月～12月)

◆北薩～熊野灘(まき網、定置網)

◆来遊量:豊後水道南部以西海域ならびに熊野灘では前年並か下回る。土佐湾～紀伊水道外域では上回る。

◆魚体:10cm～17cmの0歳魚が主体となる。熊野灘では17cm～21cmの1歳魚が混じる。



【ウルメイワシ】

経過(2012年1～6月)

◆まき網による漁獲は、6月を除く月で前年、平年を下回り、低調に推移した。特に例年1～5月に漁獲対象となる明け1歳魚(被鱗体長で17～20cm台主体)の漁が低調に推移したが、6月に入り明け1歳魚と思われる90g(聞取値、7月では18～19cm台)の漁獲がみられた。一方、沿岸の小まき・15t中まき網では、3月から0歳魚が好漁(過去10年中最高レベル)となっており、19t中まき網においても6月の0歳魚(7～8cm台モード)は平年並みに獲れている。

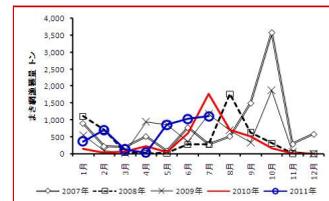
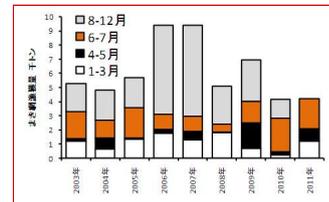
◆日向灘南部大型定置網の4～5月の当歳魚漁獲量(伝票漁獲量)は1.8トンで前年の18倍、平年比130%であった(図5)。3～5月における0歳魚のサイズは、6～13cmが主体であった。

予測(2012年8月～12月)

◆北薩～熊野灘(まき網、定置網)

◆来遊量:北薩及び薩南海域、日向灘、豊後水道南部東側では前年を下回る。宿毛湾・土佐湾、熊野灘では前年並か下回る。豊後水道南部西側では前年並。紀伊水道外域では前年を上回る。

◆魚体:7cm～20cmの0歳魚主体に、海域によっては20cm以上の1歳魚も漁獲される。



[カタクチイワシ]

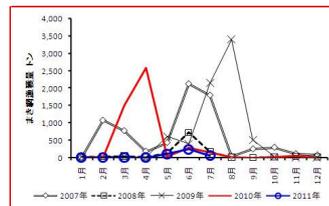
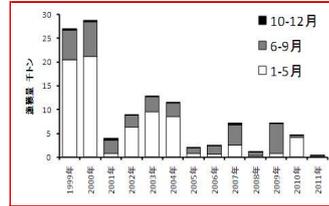
経過(2012年1~6月)

◆当期のまき網は、1~5月中旬まで低調に推移したが、5月下旬から大型成魚群(被鱗体長12-13cm主体;※1)の来遊があり、前年を上回った。沿岸発生群(5月で10-11cm台主体;※2)の漁は低調に推移している。

※1冬春期に足摺岬以東から日向灘へ来遊する資源
 ※2日向灘及び周辺海域のシラスが成長した資源

予測(2012年8月~12月)

◆北薩~紀伊水道外域(まき網、定置網)
 ◆来遊量:北薩・薩南では前年を下回る。日向灘では前年並。豊後水道中部・南部では前年を下回る。土佐湾~紀伊水道外域ではまとまった漁獲がない。
 ◆魚体:10cm~13cmの1歳魚および11cm以下の0歳魚。



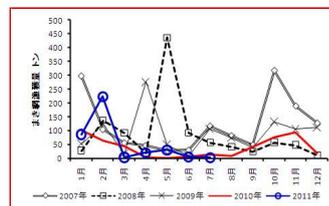
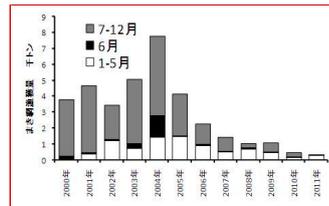
[マアジ]

経過(2012年1~6月)

◆まき網による漁況は、例年どおり年明け1歳魚(間取サイズで18-19cm)主体であった。
 ◆日向灘南部大型定置網(2統)による漁獲量(前年11月~5月)は124トンで前年比47%、平年比71%であった。漁獲サイズ(尾又長)は、1~4月は25-28cmモード、5月は18-20cmモードであった。例年であれば、4月から18-20cmが多獲されるが、今年は少なかった。
 ◆日向灘南部の南郷漁協へ水揚げされる定置網のアジ仔は、4-5月で5.6トン、前年比160%、平年比76%であった。5月の漁獲サイズは8~10cm台にモードがみられた。

予測(2012年8月~12月)

◆北薩~土佐湾(まき網、定置網)
 ◆来遊量:北薩~薩南海域では前年並。日向灘では前年並~下回る。豊後水道では前年を下回る。土佐湾では前年並~下回る。
 ◆魚体:0歳魚は19cm以下。1歳魚は19cm~25cm。2歳魚は25cm以上。



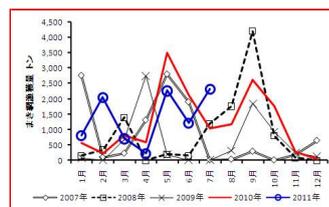
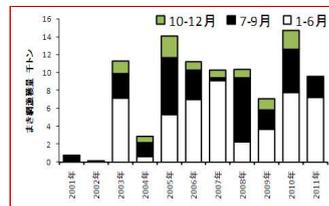
[サバ類]

経過(2012年1~6月)

◆まき網による漁獲は、ゴマサバ2009年級(3歳)主体に4月からは0歳魚(サバナゴ;ゴマサバ主体)も漁獲されており、6月はサバナゴ主体で推移した。漁獲サイズは、1~3月のまき網・定置網で尾又長31-32cmモード、5月のまき網で12cm(サバナゴ)、32-33cmモードであった。
 ◆日向灘南部大型定置網に入網した0歳魚(サバ仔)の推定漁獲量(雑魚に占める割合から算出)は4-5月で125トン、豊漁であった前年の50%であるが、06-10年比の533%であった。3~5月の漁獲サイズは、尾又長8-14cmモードであった。

予測(2012年8月~12月)

◆薩南~豊後水道(まき網、定置網) ◆来遊量:マサバは低水準。ゴマサバ0歳魚は前年並。1歳魚は、薩南では前年を下回る。日向灘~豊後水道南部では前年並。2歳魚は前年を下回る。3歳以上は少ない。さば類全体としては、薩南海域では好調であった前年を下回る。日向灘では前年並~下回る。豊後水道南部では前年並。
 ◆魚体:マサバは混獲程度。ゴマサバが主な漁獲対象となる。薩南海域では20cm~36cm(0歳~2歳魚)。日向灘では22cm~35cm(1歳、0歳魚)主体。豊後水道南部では20cm~30cm前後(1歳、0歳魚)主体。



7月の動き(県関係)

10日	第289回宮崎県内水面漁場管理委員会(宮崎市)
20日	平成24年度九州各県水産主務課長協議会(沖縄県)

全国漁青連通常総会

全国漁青連2012年度通常総会が、去る7月3日(火)、宮城県仙台市「江陽グランドホテル」において開催された。協議内容は以下の通りで、全議案とも異議無く承認された。

- ・1号議案 2011年度事業報告及び収支決算の承認に関する件
- ・2号議案 2012年度事業計画および収支予算の決定に関する件
- ・3号議案 2012年度全国漁青連会費の賦課並びに徴収方法に関する件
- ・4号議案 役員改選に関する件
- ・5号議案 その他



全国漁青連2012年度役員一覧表

ブロック	都道府県	氏名 (役員名)	監事 ブロック
北海道 東北	北海道	國分 隼人(理事)	●
	宮城県	高橋 洋(監事)	
	福島県	志賀 基明(会長)	
関東 北陸	静岡県	渡邊 富士夫(副会長)	●
	福井県	重田 利男(理事)	
東海 近畿	滋賀県	勝見 昌和(監事)	●
	山口県	中村 昭一(理事)	
中国 四国	愛媛県	菅原 幸洋(理事)	●
	福岡県	多々羅 誠(副会長)	
九州 沖縄	沖縄県	與儀 正(理事)	●

第18回全国青年漁業者グループリーダー研究集会

総会に引き続き、第18回全国青年漁業者グループリーダー研究集会が開催された。内容は以下の通り

(1) 状況報告

- ・「被災地における漁業の現状」
宮城県漁業協同組合青年部 大友康広 氏
- ・『『岬ガザミ』の付加価値、知名度向上を目指して』
大分県漁業協同組合青年部 高島信次 氏

(2) 講演

- 「魚食の復興」
水産庁 増殖研究部 研究指導課 情報技術企画官 上田勝彦 氏

(3) パネルディスカッション

- 「魚の消費をUPさせるためにすべきこと」
コーディネーター(上掲) 上田勝彦 氏
- パネリスト(〃) 大友康広 氏
- パネリスト(〃) 高島信次 氏
- (全漁連常務理事) 長屋信次 氏



RELATED ORGANIZATION 関係機関

全国漁青連設立20周年事業記念式典

グループリーダー研究会に引き続き、全国漁青連設立20周年事業記念式典が開催された。被災者へ哀悼の意を表し黙とうから始まり、全漁連 服部会長の祝辞と続き、歴代会長に対する感謝状授与がなされた。

歴代会長 西田良一氏 水谷隆行氏 平野重美氏 西山徹氏 坂元茂教氏



被災地現地視察

4日(水)午前7時50分に江陽グランドホテルに集合し、バスで3班に分かれて南三陸町へ出発。JFみやぎ志津川支所(魚市場)で当時の状況などを聞いた後、地元漁業者がタコや貝の水揚げを行っている様子を見学した。



黒潮会総会

県内の小型まぐろ延縄漁船の船主間の親睦・航海の安全、漁獲情報の提供等を目的として結成されている「黒潮会(会長溝口吉治)」の平成24年度定期総会が、7月25日宮崎市のホテルメリージュで開催された。

冒頭、溝口会長の挨拶、江藤祐後援会よりメッセージ読み上げに続き、漁連丸山会長、全近かつ三鬼会長、県成原課長来賓祝辞の後協議となり、平成23年度収支報告はじめ提出議案は原案通り承認された。(議案・講演は次の通り)

(1)議事

- ・平成23年度収支報告
- ・その他

(2)報告及び意見交換会

- ・まぐろ延縄漁業を取り巻く諸問題について
- ・WCPFC条約のオブザーバー導入について
- ・クロマグロの保存管理措置について
- ・漁場探索事業と提供情報について
- ・漁業情報サービスセンター 為石常務 高橋リーダー
- ・那智勝浦漁協の現状について
- ・那智勝浦漁協 丸山参事
- ・系統利用のお願い
- ・全漁連購買事業部 岩山部長

(3)講演

- ・「延縄漁業と太平洋クロマグロ資源との関係」
国際水産資源研究所 ころまぐろ資源グループ研究員 大島和浩
- ・「まぐろ延縄で漁獲されたメバチの食性について」
国際水産資源研究所 混獲生物グループ研究員 中東明佳
- ・「漁船の海難防止について」
宮崎海上保安部 新久保敏郎
- ・「漁船保険制度及び漁船保険からみた海難事故について」
宮崎県漁船保険組合 今塩屋円

RELATED ORGANIZATION

宮崎県漁業士会総会

7月5日(木)水産会館5階大研修室において、平成24年度宮崎県漁業士会総会が行われた。漁業士認定証授与式の後に、下記事項について協議を行い、承認が得られた。また総会終了後、(社)宮崎県農業振興公社、河野昭彦氏による「6次産業化の概要と取り組み事例について」と題した講演が行われた。

- 1)23年度実績、24年度計画について
- 2)会費の徴収方法について
- 3)定年制について

宮崎県定置漁業協会視察研修会

平成24年7月18日(水)~20(金)新潟県佐渡市及び石川県かほく市において、宮崎県定置漁業協会視察研修会が行われた。佐渡市においては、越前水産(株)の大型定置の網揚げの様子の視察を行った。石川県かほく市においては、ホクモウ(株)かほく工場において、定置網の製造過程の視察を行った。



宮崎県藻場干潟等保全地域協議会 通常総会

7月30日(月)水産会館4階第1研修室において、宮崎県藻場干潟等保全地域協議会通常総会が開催された。以下の項目について、協議が行われ、了承が得られた。

- 1)平成23年度事業報告、収支決算について
- 2)平成24年度事業計画、収支予算について
- 3)平成23年度の保全活動の実施状況及び平成24年度の事業計画の報告
- 4)国要綱・要領改正の趣旨
- 5)連絡事項
 - ・事業成果の数値化依頼
 - ・会計検査受検についての報告
 - ・活動に船舶を使用する際の注意事項
 - ・事業実施の進捗状況報告の実施について



7月の動き

3日	2012年度JF全国漁青連通常総会 第18回全国青年漁業者 グループリーダー研究集会	13日	第4回理事会
5日	平成24年度宮崎県漁業士会総会	17日	生存対策講習会(川南町漁協)
10日	内部石油担当者会議	24日	お魚料理講習会((財)宮崎県学校給食会)
11日	お魚料理講習会(高鍋高校)	30日	宮崎県浮魚礁利用協議会第1回委員会 宮崎県藻場干潟等保全地域協議会通常総会
12日	内部製氷担当者会議	31日	お魚料理講習会(日南市教育委員会)